



# 君津商工会議所 FAX通信

会員の皆様へ…会頭からのメッセージ  
平成28年2月25日(木)

Vol. 322

これからの沖縄は？

秋元 秀夫

世界戦史の中で最も激戦地沖縄の日米の攻防戦は亡くなった日本人 122,000 人、米軍兵士戦死者 12,000 人の悲惨な戦いは、終生語り継がれ、沖縄の人々にとっては記憶から消す事の出来ない苛酷な記憶として残る事と思われまます。また敵国であったアメリカ人達にとっても、深い傷跡となつて残っていると思われまます。私の常識から考えますと、あれだけ多くの犠牲者を出して攻め取つた占領地は返還出来ないのではと思つておりました。

ソ連(ロシア)が終戦時の混乱の中で、満州南樺太、千島列島を不法占拠したとは全く異なるものであります。択捉島ら北方四島だけでも沖縄の2倍超の北方資源豊かな広大な島々であります。1945年戦争が終つて、1951年サンフランシスコ平和条約によって日本は独立致しましたが、沖縄は返されませんでした。米軍基地として残され、それから21年後1972年によつて本土復帰をしたのであります。この時、本土内にあつた海兵隊の米軍基地等は、普天間等へと多くの基地が沖縄へと移転して、在日米軍基地の74%が沖縄へと集中するようになったのであります。折からの冷戦時代には、極めて重要な戦略地点であつた普天間、辺野古撤収移転も長い長い歳月をかけて、誠意と信頼と忍耐によって築かれて良き方向が見えて来た時、民主党との政権交代によって元鳩山首相の「最低県外へ移転」との発言によって長年の努力が水の泡となり、今日の基地問題悪化の原因を作つたのであります？

今回この記事を書いたのは…この基地

問題が極度に悪化すれば、沖縄は日本から分離すると言う民族問題にならなければ良いがと秘かに懸念する人達があるからであります。またそう言う事態にならない様にと沖縄の保守系の人達も願つておられるからであります。

既に龍谷大学松本泰勝先生は石垣島生まれの極めて優秀な方で、早稲田大学政治経済学部を卒業後は外務省へ勤められた経歴の持ち主であります。この松本先生が中心となつて会員は琉球民族であることを条件として「琉球民族独立総合研究所」を発足させ、研究所の方針には独立を目的としてすべての軍事基地を撤去すると記されております。私は今度の沖縄知事選で保守出身の政治家で集团的自衛権容認論者の翁長氏が全く反対の立場で知事になった事に選挙に勝つためなら政治理念も変えるのかと不快感を持って居りましたが、翁長知事は基地問題が民族問題となり、情勢によっては独立運動になる危険性を予知して、それは日本にとつても沖縄にとつてもプラスにならないと考えて居られたのかと今になって気が付いた思いであります。世界の中でも国民国家を願う争いが多くなつております。まして中国が海洋国家をめざし、強引な海洋進出に対する脅威に対しても沖縄基地問題は、日本にとつては極めて重要な課題であると思われまます。これからは、中小地方産業の立場を考えず大企業の利益のみを追う大企業、大型チェーン店の市場利益を寡占化による経済格差、所得生活格差、地域格差、そして74%を占める基地偏重格差の矛盾危険性が政治家や行政の人々はわかつていない。市民が大きい声を出す時であります。そうした事に気付き努力を始めないと一歩間違えればテロ、過激デモ、沖縄分離問題となる危険性に関心を持ち回避する時であると提案したかったのであります。不景気な世相が目につきますが、幸運の神が目の前を通り過ぎて行くのを見逃さないで下さい。

追伸…佐藤優「日本でテロが起こる日」ポールグルーマン「世界経済の勝者と敗者」「2/23 エコノミスト」※石原慎太郎「天才」は面白く良い勉強になります。参照